

別表2(第11条第1項)

外国人留学生履修基準表(自己デザイン・共通・専門領域)

領域区分	科目区分	開設科目等	単位	卒業要件単位数		
				必修	選択	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	2	2		
		教養演習Ⅱ	2	2		
	キャリア創造科目	キャリア形成論	2	2	}	2
		キャリアモデル学習	2			
		インターンシップ(就業体験学習)	1又は2			
	自己学習プログラム	1又は2				
自己デザイン領域小計				6	2	
共通領域	総合科目		2	}	10 注.1	
	広域選択科目	人間と文化分野の科目	2			
		社会と歴史分野の科目	2			
		自然と技術分野の科目	2			
	日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ	2			
	外国語科目	英語AⅠ	1	}	8 注.2	
		英語AⅡ	1			
		英語BⅠ	1			
		英語BⅡ	1			
		英語以外の外国語初級Ⅰ	2			
		英語以外の外国語初級Ⅱ	2			
		英語以外の外国語中級	1			
		日本語Ⅰ～Ⅳ	2			
		応用英語	2			自由選択
	英語以外の外国語上級	2	自由選択			
	情報教育科目	情報処理Ⅰ～Ⅳ	2	2		
健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱ	1	2			
	スポーツ実習	1	自由選択			
共通領域小計				4	18	
専門領域	人文社会学群共通科目				4 注.3	
	学類基礎科目		2	2		
	専門科目	専攻専門科目	1又は2		34	16
		個性形成科目	1～4		6	
		卒業研究科目	1又は4	8		
専門領域小計				10	60	
自由選択領域※	自己デザイン・共通・専門の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目(単位)				24 注.4	
合計				20	104	
				124		

注)

- 「総合科目」と「広域選択科目」を合わせた4分野のうち3分野にわたってそれぞれ最低1科目(2単位)合計6単位を修得した上で、残りの4単位は、「総合科目」、「広域選択科目」及び「日本事情」の中から卒業要件単位として修得する。
- 外国語科目は、母国語系統を除く1言語で8単位修得する。「日本語」は、外国語の卒業要件単位(8単位)代替することができる。
- 6単位を超えて修得した学群共通科目は卒業要件単位に含めることはできない。
- 卒業要件単位数の欄に「自由選択」とある科目は、自由選択領域科目として卒業要件単位に計上できる。

別表2(第8条第1項)

行政政策学類外国人留学生履修基準表

領域区分	科目区分		履修年次	分類(※1)	科目単位	要卒単位	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ・Ⅱ	1年	必修	2	4	
	キャリア創造科目	キャリア形成論	1年	必修	2	2	
		キャリアモデル学習	2年以上	選択必修	2	2	
		インターンシップ(就業体験学習)	2年以上	選択必修・自由	1又は2		
	自己学習プログラム	1年以上	選択必修・自由	1又は2			
(小計)						8	
共通領域	総合科目		1年以上	選択必修・自由	2	10 (※2)	
	広域選択科目	人間と文化	1年以上	選択必修・自由	2		
		社会と歴史	1年以上	選択必修・自由	2		
		自然と技術	1年以上	選択必修・自由	2		
	日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ		1年以上	選択必修・自由	2	
	外国語科目	英語Ⅰ・Ⅱ		1年	選択必修・自由	1	8 (※3)
		英語Ⅲ・Ⅳ		2年以上	選択必修・自由	1	
		英語以外の外国語初級Ⅰ・Ⅱ		1年	選択必修・自由	2	
		英語以外の外国語中級		2年以上	選択必修・自由	1	
		日本語Ⅰ～Ⅳ(※5)		1年以上	選択必修・自由	2	
		応用英語		3年以上	自由	2	
	情報教育科目	情報処理Ⅰ～Ⅳ		1年以上	選択必修・自由	2	2
	健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ・Ⅱ		1年	必修	1	2
スポーツ実習		2年以上	自由	1			
(小計)						22	
専門領域	人文社会学群共通科目		1年以上	選択必修	2	4(※4)	
	学類専門科目	学類基礎科目		1年以上	選択必修・自由	2	8
		学類基幹科目		2年以上	選択必修・自由	2	22
		専攻専門科目		2・3年以上	選択必修・自由	2	22
	専攻入門科目、演習、卒業研究	専攻入門科目Ⅰ・Ⅱ		2年	必修	2	4
		演習Ⅰ～Ⅳ		3・4年	必修	2	8
		卒業研究		4年	必修	4	4
(小計)						72	
自由選択領域						22	
総計						124	

- (注) ※1. 「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。
「選択必修」とは、指定された複数の科目のうちのいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。
「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位数にカウントすることができることを示す。
「自由」とは、自由選択領域科目として要卒単位数にカウントすることができることを示す。
- ※2. 「総合科目」と「広域選択科目」の3分野を合わせた4分野のうち3分野にわたって、それぞれ最低1科目(各2単位)合計6単位を修得した上で、残りの4単位については、「総合科目」、「広域選択科目」及び「日本事情」の中から2科目(各2単位)を卒業要件単位として修得する(合計10単位)。
- ※3. 外国語科目は、母国語系統を除く1ヶ国語で8単位を修得する。日本語は、外国語の要卒単位数(8単位)に代替することができる。
- ※4. 4単位を超えて修得した学群共通科目は要卒単位数としてはカウントされない。
- ※5. 日本語Ⅰ・Ⅱは1年次以上、日本語Ⅲ・Ⅳは2年次以上が履修できる。

別表2(第8条第1項、第21条第1号)
外国人留学生の履修基準

領域区分	科目区分・科目名		履修開始 セメスター	分類 (注1~4)	1科目単位数	要卒単位	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	1	必修	2	2	
		教養演習Ⅱ	2		2	2	
	キャリア創造科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
		キャリアモデル学習	2	選必	2		
		インターンシップ(就業体験学習)	2	選必・自由	1又は2		
	自己学習プログラム		1	選必・自由	1又は2		
(小計)						8	
共通領域	総合科目		1		2	10 (注6)	
	広域選択科目	人間と文化	1	選必・自由	2		
		社会と歴史	1		2		
		自然と技術	1		2		
	日本事情		I~IV	1		2	
	外国語科目	英語	英語AⅠ	1	選必・自由 (注7)	1	8 (注7)
			英語AⅡ	1		1	
		英語以外の外国語	初級Ⅰ	1		2	
			初級Ⅱ	2		2	
		英語	英語BⅠ	3		1	
			英語BⅡ	3		1	
		英語以外の外国語	中級	3	1		
		日本語	英語以外の外国語	応用英語	5	自由	2
				上級	5	2	
				I	1	自由 (注7)	2
	II			2	2		
	III	3	2				
	IV	4	2				
	情報教育科目	情報処理Ⅰ		1	選必・自由	2	2
		情報処理Ⅱ		1		2	
		情報処理Ⅲ		1		2	
		情報処理Ⅳ		1		2	
健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ		1	必修	1	1	
	健康・運動科学実習Ⅱ		2	1	1		
	スポーツ実習		3	自由	1		
(小計)						(注8) 22	
専門領域	学類基礎科目	リテラシーⅠ(注5) (学群共通科目)	1	必修	2	8 (4)	
		リテラシーⅡ	2	選必※・自由	2	6	
		リテラシーⅢ	3	選必※・自由	2	10	
		経済英語演習・経済日本語演習	3	選必※・自由	2	2	
	専攻科目	専攻専門科目		4	選必・自由	2	32 6 (3科目)
		専門演習		4	2		
		特別演習		1	選必※・自由	2	
		卒業論文演習Ⅰ		7	2		
		卒業論文演習Ⅱ		8	必修	2	
	特殊講義		1	自由	2		
卒業論文		8	必修	4	4		
(小計)						70	
自由選択領域						(注8) 24	
全体	(総計)					124	

- (注)1. 「選必」とは同じ科目区分内で選択必修となること、「自由」とは自由選択領域科目として卒業要件単位数に計上できることを示す。
 2. 「必修・自由」とは、必修の要件単位を超えて修得した単位を自由選択領域に計上できることを示す。
 3. 「選必・自由」とは、同じ科目区分内で選択必修の要件単位を超えて修得したものを自由選択領域に計上できることを示す。
 4. 「選必※・自由」の※は、選択必修の要件単位を超えて修得したものを専攻専門科目として計上できることを示す。また、専攻専門の必要単位数を満たしている場合は、自由選択領域に計上できる。
 5. 学群共通科目は、リテラシーⅠの区分中、科目指定をせず2科目4単位を充てる。また、他学類開設の学群共通科目については、受講して単位修得は可能だが、要卒単位には計上されない。(自由選択単位にもならない。)
 6. 総合科目と広域選択科目をあわせた4分野のうち3分野にわたって、それぞれ最低1科目(2単位)合計6単位を修得した上で、残りの4単位は総合科目、広域選択科目及び日本事情の中から修得し、全体で10単位とすること。
 7. 外国語科目は、母国語系統を除く1か国語で8単位を修得する必要がある。日本語は、外国語の卒業要件単位(8単位)に代替することができる。その他の言語で外国語科目の要卒単位を満たす場合には、修得した日本語は自由選択領域の単位となる。
 8. 別表1に定める一般履修基準とは必要単位数が異なる。

別表2

理工学群共生システム理工学類履修基準表（外国人留学生）

領域区分	科目区分		履修年次	分類	1科目 単位数	卒業要件 単位数	
自己デザイン領域	基本科目	教養演習Ⅰ	1年	必修	2	4	
		教養演習Ⅱ	1年	必修	2		
	キャリア創造 科目	キャリア形成論	1年	必修	2	2	
		キャリアモデル学習	2年以上	選必	2		
		インターンシップ（就業体験学習）	2年以上	選必・自由	1又は2	2	
	自己学習プログラム	1年以上	選必・自由	1又は2			
	(小計)					8	
共通領域	総合科目		1年以上	選必・自由	2	10 (注1)	
	広域選択科目	人間と文化	1年以上	選必・自由	2		
		社会と歴史	1年以上	選必・自由	2		
		自然と技術	1年以上	選必・自由	2		
	日本事情	日本事情Ⅰ	1年以上	選必・自由	2		
		日本事情Ⅱ	1年以上	選必・自由	2		
		日本事情Ⅲ	1年以上	選必・自由	2		
		日本事情Ⅳ	1年以上	選必・自由	2		
	外国語科目	英語AⅠ・AⅡ	1年	選必・自由	1		8 (注2)
		英語BⅠ・BⅡ	2年以上	選必・自由	1		
		英語以外の外国語初級Ⅰ・Ⅱ	1年	選必・自由	2		
		英語以外の外国語中級	2年以上	選必・自由	1		
		日本語Ⅰ	1年	自由	2		
		日本語Ⅱ	1年	自由	2		
		日本語Ⅲ	2年以上	自由	2		
		日本語Ⅳ	2年以上	自由	2		
	情報教育科目	情報処理Ⅰ	1年以上	選必・自由	2	2	
		情報処理Ⅱ	1年以上	選必・自由	2		
		情報処理Ⅲ	1年以上	選必・自由	2		
	健康・運動科目	健康・運動科学実習Ⅰ	1年	必修	1	2	
		健康・運動科学実習Ⅱ	1年	必修	1		
		スポーツ実習	2年以上	自由	1		
	(小計)					22	
専門領域	学群共通科目		1年以上	必修	2	2	
			1年以上	選必・自由	2	4	
	学類基礎科目	学類基礎科目A	1年以上	必修	2	6	
		学類基礎科目B	1年以上	選必・自由	2	2	
		学類基礎科目C	1年以上	選必・自由	2	2	
		学類基礎科目D	1年以上	選必・自由	2	2	
		学類基礎科目E	1又は2年以上	選必・自由	2	6	
	専攻基礎科目		2年以上	必修	2	0又は6(注3)	
			2又は3年以上	選必・自由	2	8又は2(注4)	
	専攻実践科目		2年以上	必修	2	2	
			2又は3年以上	選必・自由	1又は2	8	
	専攻専門科目		2又は3又は4年	選必・自由	2	30	
	文理融合科目		1又は2又は3年以上	選必・自由	2又は4	6	
演習		3又は4年	必修	2	4		
卒業研究		4年	必修	2	4		
	(小計)					86	
自由選択領域						8	
全体	(総計)					124	

(注) ※ 「選必」とは選択必修を、「自由」とは自由選択領域科目として卒業要件単位数に計上されることを示す。「選必・自由」は、選択必修の卒業要件を超過して修得した単位を自由選択領域に計上することができることを示す。

- 「総合科目」と「広域選択科目」を合わせた4分野のうちの3分野にわたって、それぞれ最低1科目（2単位）合計6単位を修得した上で、残りの4単位は、「総合科目」、「広域選択科目」及び「日本事情」の中から卒業要件単位として修得するものとする。
- 外国語科目は、母国語系統を除く1ヶ国語で8単位を修得するものとする。
「日本語」は、外国語の卒業要件単位（8単位）に代替することができるものとする。
- 人間支援システム専攻及び産業システム工学専攻では、必修の専攻基礎科目は開講しない。環境システムマネジメント専攻では、必修の専攻基礎科目を6単位修得するものとする。
- 人間支援システム専攻及び産業システム工学専攻では、選択必修の専攻基礎科目を8単位修得するものとする。環境システムマネジメント専攻では、選択必修の専攻基礎科目を2単位修得するものとする。